

日本福祉大学大学院

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程

2026 年度 第 1 期入学試験問題

【英語（一般入試）】

問 1

【出題の意図】

本問題は、大学院において、スポーツ科学の人文・社会科学領域の研究を遂行する上で基礎となる英文読解力および基礎的知識の理解状況を評価することを目的としている。具体的には英語圏の大学で使用されるテキストの序論を素材とすることで、専門的内容を含む英文を正確に読み取り、その主旨や基本的概念を適切に把握する能力を確認することを意図している。

【解答例】

現代のスポーツ組織のマネジメントには、現代の企業、政府機関、非営利組織の多くに見られる手法や戦略の適用が求められる。スポーツマネジャーは、戦略的計画の立案や業績管理に携わるとともに、多くの有給およびボランティアの人的資源も管理することとなる。また、数十億ドル規模に及ぶメディアの権利契約を取り扱い、時には平均的な労働者の賃金の 100 倍もの収入を稼ぐトップアスリートの育成と福利厚生（福祉）の管理にも関与する。さらに、スポーツマネジャーは、国際スポーツ連盟、国内スポーツ組織、政府機関、メディア企業、スポンサー、地域団体などから構成される高度に統合されたグローバルネットワークの中で業務を行っており、そこでは数多くの規制や政府政策、そして複雑な意思決定の枠組みの影響を受けることになる。

問2

【出題の意図】

大学院でスポーツ科学に関する研究を遂行するにあたり、女性アスリートの三主徴の1つである月経異常についての基本的な理解度を確認することを意図している。

【解答例】

競技アスリートとして参加する女性は、ここ数十年間で著しく増加した。これまでは、女性のスポーツや運動プログラムへの参加に関する決定の多くは、生理学的な情報が限られた、あるいは全くない中で議論が行われてきた。女性アスリートに関する多くの疑問はまだ解決されていないが、健康な女性アスリートが持久系スポーツやパワー系スポーツに積極的に参加することを制限する理由はないことがこれまでの研究で明らかになった。実際、月経周期の黄体期にある女性アスリートでは運動時の体温調節機能が中等度に障害されるという事を除いて、運動やトレーニングに対する女性の一般的な反応は、基本的に男性と同じである。

運動性無月経の発生率は、スポーツによって著しく異なる。例えば、一般女性の無月経の発生率は約3%であるのに対し、女性アスリートでは12%から69%の割合で発生する。無月経の発生率が最も高いのは、長距離走やバレエのように競技力を高めるために低い体脂肪率を求められるスポーツである。